



2015・7・21

第210号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

世論高めることこそ 安倍内閣を追いつめる力

衆院での強行採決に抗議し、
戦争法案廃案に向け
草の根からのうねりを！

2015年7月21日 九条の会事務局

7月16日、政府与党は衆院で戦争法案の採決を強行しました。国会審議を通じて違憲性がいよいよ明白になった法案を、しかも、国民の多数が反対を表明しているなか、強行採決したことは二重の意味で立憲主義を踏みにじる暴挙にほかなりません。私たちはこの暴挙に強く抗議するとともに、全国の九条の会が戦争法案を廃案に追い込むために全力をあげることを訴えます。

九条の会事務局は、戦争法案の提出を前にした5月1日、「訴えと提案」を発表し、戦争法案を潰すために全国の会が草の根から立ちあがることを訴え、7つの具体的行動を提案しました。

この間、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」という、かつてない共同が実現し、SEALDs^s など新しい運動が生まれました。それらのよびかけによって国会をとりまく行動がくり返し行われ、その声に応えられて、国会での政党どうしの連携も強まりました。地域の声を受けて

＜九条の会事務局主催＞

戦争法案は廃案に！ 九条守れ
九条の会交流・討論集会

会期末に向けてどのような運動を展開するか、各地域・分野の九条の会による経験や意見を交流します。あらかじめ参加者数などを把握するため、参加希望の方は、お名前、所属の九条の会、住所、電話・FAX番号を事前に事務局までFAX・メール・郵便で御連絡下さい。

▽日時 8月12日(水)

午後6時から8時30分

▽会場 東京しごとセンター

▽参加費 無料

東京都千代田区飯田橋 3-10-3

(JR、地下鉄東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅下車 徒歩10分)

全国265に上る地方議会で法案の撤回、慎重審議を求める意見書が採択されました。

しかし、戦争法案を廃案に追い込む闘いはこれからです。世論の高まりこそが安倍内閣を追いつめる力です。「草の根から共同

を重視して」、を合い言葉に決意を新たに地域、職場、学園に入りましょう。いまこそ、九条の会の出番です。

来る8月12日には、改めて戦争法案阻止に向けての先駆的活動を持ち寄りみんなのものにするために、「戦争法案は廃案に！ 九条守れ 九条の会交流・討論集会」を開きます。ぜひ、12日をめざして、一回りも二回りも広い活動を持ち寄りましょう。

政党とも共同 怒りの街頭宣伝

【愛媛県今治市】 台風一過、まだ強い風が吹く中で、9条の会・今治は戦争法案が衆院で採択された翌日の7月17日午後1時30分から、どんどび交差点で21人が参加し怒りの街頭宣伝を実施しました。

「戦争法案は廃案に」など4枚の横断幕、のぼり旗数本、「アベ政治を許さない」のプラカードなどを掲げ、衆議院での強行採決に抗議し、参議院で必ず廃案に追い込もうと意気高く行動しました。

ハンドマイクでのリレートークは、福田剛県議（民主党）、山本五郎市議（共産党）に続き、参加者の中の4名がマイクを持ち、それぞれの思いや決意を語りました。

今後も「戦争法案は廃案に」で一致する全ての個人、団体が共同し「大きな世論を巻き起こすために頑張ろう」と確認し散会しました。

（9条の会・今治事務局長 大沢守）

県議8人が「九条の会」結成

【秋田県】 県議有志による「県議会九条の会」が9日、発足しました。社民、民主・無所属、共産3会派の県議8人が会員

に名を連ね、安全保障関連法案の成立に反対する県民運動を盛り上げていく方針です。

社民の石田寛氏が、6月県議会で安保法案の今国会成立を促す意見書に反対した4会派に参加を呼び掛け、みらい会派を除く3会派が応じました。代表には石田氏、事務局長は加賀屋千鶴子氏（共産）、事務局次長は小原正晃氏（民主）が務めます。

石田氏は県議会棟会議室で開いた発足式で、6月県議会で安保法案の今国会成立を促す意見書案が可決されたことに対し「これで終わりではない」と強調。今後は有識者を招いた公開勉強会などを開く予定です。

空襲の日に「平和・九条電車」

【岡山市】 岡山市の「三勲・旭九条の会」と「平和の波おかやま実行委員会」は6月28日、共同で路面電車「平和・九条電車」を走らせました。

東山電停—岡山駅—清輝橋電停の往復2時間。「明日29日は岡山空襲の日です」「岡山市は29日を平和の日と宣言」と電車に表示し、市民にアピールしました。

35人が乗車。車内では「故郷」「夏は来ぬ」など懐かしい歌を合唱しました。

終点の岡山駅前では一時停止し、成田昌士さんが「8歳の時、門田屋敷で空襲にあい、母と東山公園の方へ逃げて助かった。家も食糧もない戦後の母の苦労は大変なものだったと思う。戦争は絶対してはいけない」と話しました。

参加者から「戦争と平和について考える機会ができてよかった」などの感想が寄せられました。

「平和こそ社会参加の基盤」と訴え

【視覚障害者9条の会】 「平和こそが、視覚障害者の社会参加促進の土台となります。戦争法案は廃案に」と、視覚障害者9条の会は7月4日、東京・新宿駅前で、戦争法案反対の宣伝を行いました。

「正しい戦争は絶対がない。どんな戦争にも反対する」と語ったのは、国立市から行動に参加した栗山健さん(67)。戦時中の食糧難のため、生後6ヵ月まで目が開きませんでした。「憲法違反の法案は廃案に追い込もう」と力を込めました

白杖を持って府中市から夫と参加した生田目幸江さん(37)は「障害があっても、ない人と同じ権利があります。その権利は戦争だと守られません」と訴えました。

宣伝の準備中から、すすんで署名しに来る人やチラシを受け取る人が後を絶ちませんでした。荒川区の高木邦夫さん(67)は「原発事故の責任すら取らない安倍自公政権が、首相の気分次第で海外で戦争したときに責任を取るとは思えない」と話して署名に応じました。

かつてない参加で集会やデモ

【愛知県半田市】 愛知県半田市で7月4日、「戦争はダメダメ大パレード in 知多半島」が初めて行われました。雨が降るなか、半田市福祉文化会館前に220人が集合。「戦争反対」「憲法9条守ろう」と書いた横断幕やパネルを持った参加者らが市内をパレードしました。

知多半島9条の会連絡会が、知多半島で戦争反対を表明している各種団体に呼びかけて開催したもの。同会代表の桂木恭子さ

んは「これまで知多半島のパレードでは最高でも150人ぐらい。200人を超えたのは初めて」「戦争反対の声がどんどん大きくなっている」と強調しました。

パレードに参加した女性(76)は、「とにかく戦争は絶対ダメ。子や孫を戦争におくりだしちゃいけない。怒りいっぱい」と話しました。大学3年生の女性(20)は、「最初に戦争に行くのは若者。若者が『戦争に反対しているんだぞ』ともっとアピールしていきたい」と語りました。

【北海道広島市】 北海道北広島市でも7月4日、市民らが戦争法案反対の集会・パレードを行いました。

「西の里・虹ヶ丘憲法九条の会」と「北広島九条の会」が中心に、「地元から戦争ノーの声をあげよう」と準備してきた初めての集会・パレードで、170人が参加しました。

「市民へのアピール」呼びかけ人の神沼公三郎・北海道大学名誉教授らが「憲法9条のもとで集団的自衛権の行使は許されない。声をあげ憲法を守り抜こう」と訴えました。

3歳の息子を乗せたベビーカーを押してパレードした佐々木百合香さん(35)は「この子がおとなになるころ、日本が戦争できる国になっているのは困ります。いま自分にできることをしたい」と話していました。

結成準備会が発足

【岡山県倉敷市】 岡山県倉敷市の「児島9条の会」(仮称)の呼びかけ人会議がこのほど、同市児島で開かれ、結成準備会を発足させました。この日までに、弁護士、宗教家、歯科医師、元教員、事業主・商店主など90人が呼びかけ人に。7月26日に結成総会。